

館報

# おからだ

## 祝！新成人！

### 「両親に感謝の 気持ちを伝えたい」

1月10日、総合体育館での松本市の成人式に先立ち、主に岡田小学校出身の新成人が公民館に集まり記念撮影。振り袖や羽織袴、スーツに身を包んだ晴れやかな表情の新成人24人が旧交を温め合っていました。地区の新成人は82人です。

### 新成人に 聞きました

#### ● 夢は？

小学校教師・義肢装具士・言語聴覚士・音響エンジニア・教員・看護師・社会福祉士の資格を取って福祉の仕事に就く

#### ● 尊敬できる大人はいますか？

身近な人でも有名人でもいいです。

父(2人)・親(3人)・母・私の姉(自分と向き合っている)・専門学校の講師・以前会社にいた人・フォレスト・ガンブ(アメリカ映画「フォレスト・ガンブ 一期一会」の主人公)

#### ● 成人式を迎える今の気持ちは？

感慨深いです・胸がいっぱいです・嬉しさと不安です・すがすがしい・わくわくしてます・久しぶりに友人と会え嬉しいです！・成人である実感が湧かないです・大人になりました・育ててくれた人達(親に)(周りの人たちに)感謝します(3人)・社会人として頑張るって仕事していきます・大人として頑張ります

アンケートに答えてくれたのは半数でしたが、夢を持ち、着実に努力している姿が伺えました。身近なところでもスクリーンの中でも、尊敬できる大人がいるのは幸せなことですね。新成人の皆さんの健闘を祈ります。(取材 石神)

照れないうで一声あいさつ  
笑顔をもえて!



人物登場

生き甲斐の  
「盲導引退犬  
ボランティア」

松岡 永伯 さん  
茅野 町子 さん

テレビ番組「ポチたま」に出演した事で御存知の方もいらっしゃると思いますが、今回は引退した盲導犬を引き取り、共に暮らしておられる茅野さん御夫婦にお話を伺いました。

御主人が12年前テレビで「盲導犬クイール」を見て感激し「あんな犬を世話してみたい！」と強烈に思い、奥さんに相談したのがきっかけだったそうです。

それまで可愛がっていたシエルテイ犬が死亡した直後だったこともあり、動物大好きな御二人は、動物病院の先生の紹介により、2003年3月に盲導犬を引退したラブラドルの(マックス)を引き取りました。それがボランティアとしてのスタートでした。

以来、12年間で6頭と想い出を共にし、うち4頭を看取り、現在は(デリカ)と(ペラ)の2頭と屋内外で散歩したり

遊んだり、また犬の体調がすぐれない時は動物病院に通ったりすることが充実した日課となりました。

楽しかった思い出は、犬達と一緒に車で旅行したことだそうです。大型犬を泊めることに難色を示したところでも、「盲導引退犬です」と説明するとOKしてくれた宿泊施設も多かったそうです。「お行儀の良いワンちゃんですね!」と褒められると、「自分達が褒められていてくれるだけでいい!」と照れ臭そうに話す御二人は本当に幸せそうでした。

「一生懸命可愛がった高齢犬の死はとても悲しくつらいけれど、最後を看取れた充足感はないとええ様もない気持ちです」と語ってくださいました。

今後「長野県ハーネスの会」(引退犬ボランティアの集まり)の会員が増え、自分達の後継者ができればうれしいと2頭を優しく撫でながら感慨深げに話してくださいました。

(聞き手 藤田憲一郎)



盲導犬協会にて

今回ドイツを訪れる機会があり、2週間程行ってきました。

訪問する前のドイツのイメージは正直なところ、あまり良いものではありませんでした。例えば、パサパサのパン、堅苦しいような人々等です。その一方、世界一の動物愛護の国であるとか、最近では難民を次から次へと受け入れる国といった事も聞いていました。

しかし、実際ドイツに行ってみると、パンは美味しく周りはカリカリで中はしっとりとしていて、日本人の口にと

ても合うものでした。

そして、人々はどういうと昔の日本人を思わせる、人との繋がりや大切にしている心温かな人達でした。その人柄が故の難民問題への対応というこ

生活雑記  
ドイツを訪れて  
岡田松岡 小澤いづみ

とも理解できました。

東部のブラウエンという町で、シリアからの難民の青年と、彼を支援しているドイツ人と話をする機会がありました。難民の彼は弟と2人でシリ

アには帰らず、ドイツで恩返ししたいと言っていました。受け入れたドイツ人の方は、ドイツ語を教えるなど献身的に面倒をみて、ドイツで生きたいけるようサポートをしていました。

そんな中で、ドイツ人が自分達の歴史を受け入れ、それを糧にボランティアをしている姿を垣間見ることがありました。動物愛護国と言われる所にもわかつた気がしました。こんなふうに分の目で見て、体験することの素晴らしさを味わうことができた旅でした。

今日のお話な〜に?  
「りんごっこ」の学校サポート事業



岡田小学校のこにこわくわく学級では、「岡田お話の勉強会りんごっこ」の読み聞かせが毎月あります。12月のテーマは「クリスマス」。

会の始まりを告げる「おはなしのろうそく」の点火、手遊び、そして「まほうつかいのクリスマス」などの絵本6冊をメンバーが代わる代わる読み聞かせます。子どもたちは身を乗り出して、絵本の世界に入り込んでいました。仕掛け絵本からオルゴールのメロディが突然流れたときは一瞬みな気がと

この活動が長く続いてきたのは、子どもたちとの時間が楽しいこと、それに絵本を選ぶ楽しさもあるようです。11月は「おいしいもの」1月は「猿」というように毎月テーマを決め、それに添った本を銘々で数冊選んで持ち寄り、勉強会をしています。これからも子どもたちを楽しませて下さいね。

(取材 石神)



りんごっこのメンバーによる読み聞かせ